

教育研究評議会（令和8年度第4回）議事要旨

1. 日 時 令和8年7月21日（火）13:29～15:21

2. 場 所 オンライン会議

3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）

（Webex）加藤、太田、小谷、西村、ベントンの各評議員（理事）

笠原、出村、上久保、加藤、細川、井上（美）、別所、河合、富谷、種池、井上（裕）の各評議員

出席監事(Webex) 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、東、有賀の各課長

（Webex）元平部長

守山、山田、山本、伊賀、多田の各課長

（配付資料一覧）

資料1 教育研究評議会（令和8年度第3回）議事要旨（案）

資料2 教員人事について（審議）

資料3 海外機関との学術交流協定の締結等について

資料4 インドネシア共和国 インドネシア大学（UNIVERSITAS INDONESIA）と日本 奈良先端科学技術大学院大学（NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY）との間における博士課程におけるダブルディグリーに関する協定

資料5 奈良国立博物館との包括連携研究等の推進に関する協定書の締結について

資料6 奈良先端科学技術大学院大学電子ラボノートコンソーシアム実施要領

資料7-1 教員人事について（報告）

資料7-2 特任教員選考結果報告書

資料7-3 特任教授等選考結果報告書

資料7-4 教員人事について（報告）

資料7-5 客員教員選考結果報告書

資料7-6 客員教員選考結果報告書

資料7-7 客員教員選考結果報告書

資料7-8 客員教員選考結果報告書

資料7-9 教員人事について（報告）

資料7-10 招へい教員・客員教員選考結果報告書

資料7-11 招へい教員・客員教員選考結果報告書

資料8 学生の懲戒処分について

資料9 令和7年度 修了時アンケート結果

資料10-1 2026年度 国際交流貢献表彰について

資料10-2 表彰推薦書

資料10-3 表彰推薦書

資料10-4 表彰推薦書

資料10-5 表彰推薦書

資料10-6 表彰推薦書

資料11 令和7事業年度 貸借対照表の概要

資料12 令和9年度予算に係る運営費交付金概算要求について【共通政策課題分（基盤的設備等整備分）】

資料13 令和8年度施設整備実施事業について

資料14 令和8年度科研費（新規採択分）の交付内定状況について

資料15 令和7年度節電結果（最終報告）及び令和8年度 節電目標について

4. 議 事

(前回議事要旨の確認)

資料1に基づき、令和8年度第3回の議事要旨(案)について、原案のとおり承認した。

(審議事項)

(1) 教員人事について

議長から、資料2に基づき、教員人事(助教の採用1件)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(2) 海外機関との学術交流協定の更新について

太田理事から、資料3に基づき、海外機関との学術交流協定の更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(3) ダブルディグリープログラム協定の締結について

太田理事から、資料4に基づき、ダブルディグリープログラム協定の締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(主な意見は、次のとおり)

- ・ダブルディグリープログラムに参加している学生は何人いるのか。
→資料98ページのダブルディグリープログラム締結状況に、在学中の学生受入/派遣実績の人数を記載している。
- ・ダブルディグリープログラムが学生のキャリアパスにおいてプラスになっているか、日本企業がその経験を積極的に評価しているか等が分かれば、学生のプログラム参加促進につながるのではないか。
→今後プログラムに関するアンケートを取る等により把握することを検討したい。

(4) 奈良国立博物館との包括連携研究等の推進に関する協定書の締結について

太田理事から、資料5に基づき、奈良国立博物館との包括連携研究等の推進に関する協定書の締結について説明があり、審議の結果、軽微な修正については学長に一任することとした上で、原案のとおり承認した。

(5) 電子ラボノートコンソーシアムの設置について

太田理事から、資料6に基づき、電子ラボノートコンソーシアムの設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告事項)

(1) 教員人事について

議長から、資料7-1～11に基づき、教員人事(特任教授の更新1件、特任准教授の採用1件、客員教授の称号付与3件、客員准教授の称号付与1件及び招へい教員の任命2件)について報告があった。

(2) 学生の懲戒処分について

議長から、資料8に基づき、学生の懲戒処分について報告があった。

(3) 令和7年度修了時アンケートについて

加藤理事から、資料9に基づき、令和7年度修了時アンケートについて報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・資料301ページの「メンタル面での不安経験」について、年々良くなっているのか、それとも悪くなっているのか。またその内容としては、将来の就職の不安といったものが多いのか。

→本学には「学生なんでも相談室」を設けているが、メンタルに関する相談の割合が高く、年々相談件数が増加傾向にある。また、相談内容については、将来の就職の不安だけでなく、対人関係や研究の進め方等様々である。

- ・すぐの対応や改善が難しい項目もあると思うが、分析や意見を吸い上げることは重要であるため、今後も継続していただきたい。
 - ・アンケートに回答していない学生の意見が本質的な課題を秘めている可能性もあるため、アンケートの回答率が上がるよう、大学として取り組んでいただきたい。また、このアンケート結果を受けての対策はどこで議論されているのか。
- アンケート自体は、教育推進機構の教育推進部門が中心となって行っている。アンケート結果は、教育推進会議で共有され、各領域に展開される。

(4) 2026年度国際交流貢献表彰について

太田理事から、資料10-1～6に基づき、2026年度国際交流貢献表彰について報告があった。

(5) 令和7年度決算について

有賀会計課長から、資料11に基づき、令和7年度決算について報告があった。

(6) 令和9年度概算要求（基盤的設備等整備分）について

有賀会計課長から、資料12に基づき、令和9年度概算要求（基盤的設備等整備分）について報告があった。

(7) 令和8年度施設整備実施事業について

元平管理部長から、資料13に基づき、令和8年度施設整備実施事業について報告があった。

(8) 令和8年度科研費（新規採択分）の交付内定状況について

井上事業推進部長から、資料14に基づき、令和8年度科研費（新規採択分）の交付内定状況について報告があった。

(その他)

(1) 令和7年度節電結果及び令和8年度節電目標について

元平管理部長から、資料15に基づき、令和7年度節電結果及び令和8年度節電目標について報告があった。

以 上